



MONJU at present  
**高速増殖原型炉もんじゅ**  
**プラント確認試験速報**

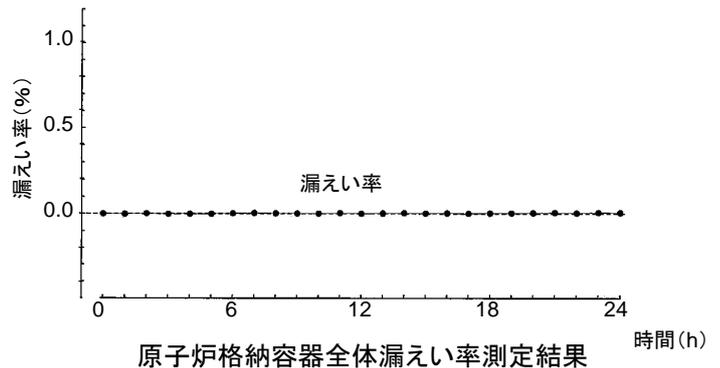
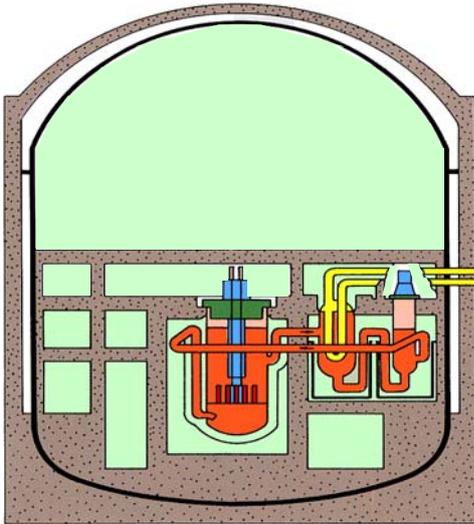


第 18号

平成20年9月5日発行

試験件名	5. 放射性物質の閉じ込め機能の確認 (原子炉格納容器全体漏えい率試験)	当該試験速報回数	1
試験目的	原子炉格納容器全体漏えい率試験を実施し、格納容器の漏えい率が許容値以下であることを確認する。		
試験範囲	原子炉格納施設		

主要な試験項目	試験内容	結果	実施時期
原子炉格納容器 全体漏えい率試験	原子炉格納容器内を窒素ガスで昇圧し、圧力・温度が静定状態であることを確認した後、圧力等を測定する。24時間測定を行い、全体漏えい率を算出する。	良	H20.8.13 ~ H20.8.22



漏えい率は、原子炉格納容器を加圧し、その圧力変化を測定して求める。窒素で加圧して、測定開始時刻から測定終了時刻までの漏えいした窒素の質量と測定開始時刻における格納容器内窒素質量の比を%で表した値。

(試験概要)

- ・原子炉格納容器内の上部の空気雰囲気を窒素に置換した。
- ・原子炉格納容器全体を窒素にて試験圧力まで昇圧させた。
- ・24時間保持し、圧力変動の測定を行い、格納容器の全体漏えい率が許容値(0.5%/day以下)に対し、十分下回っている(0.01%/day)ことを確認した。
- ・漏えい率測定終了後、原子炉格納容器内の上部雰囲気を、空気に置換した。



試験風景

(解説)原子炉格納容器は原子炉冷却材バウンダリの万一の破損等により放射性物質が漏えいした際、それらが外部に放散しないように閉じ込めるための容器である。